

AIと民主主義

令和5年1月15日

峯木 貴

2年程前に当時の「AI vs. 教科書が読めない子どもたち 新井 紀子」を種本として AI の状況を説明した。

私の当時の見解は 2045 年までに汎用 AI は実現不可能で、シンギュラリティは到底起こるものではない、といった内容のものであった。

しかし現在、その考えを大きく変えなければならないような事態が起きている。

そして、その AI と民主主義はどの様に結びつくのか。

1. OpenAI の GPT-3 の実演

この程度の会話だと人間との chat とそんな色のないレベルまで来ている。

GPT-3 は英語で開発されたため、英語の chat はもっとレベルが高い。

しかし、専門的な領域だとおぼつかない。が、GPT-3 にはオプションとして fine tuning という機能があり、専門用語をさらに学習しより高度な文章を書くことができる。

2. GPT-3 とかつてのエキスパートシステムの違い

1)エキスパートシステム

特定の問題に対して、専門家のような受け答えをするもので、事前に多量の専門用語を入力するとともに、推論や意思決定のためのルールを記述する必要がある。

2)GPT-3

570GB(570,000,000,000 文字 英単語で約 100 億単語)以上もの文章 (テキスト) で事前学習を行い、1,750 億個のパラメータ (脳で言えばニューロン) で解析させる。事前学習というこの時点である程度までの能力を獲得しており、あとは使い方次第で能力を高めることができる。

このように従来のエキスパートシステムと GPT-3 の開発の方向は全く異なっている。後数か月には人間のニューロン数を超える GPT-4 が出る予定である。

3. 絵を描く AI、作曲する AI

先ほどの GPT-3 は言語解析に特化した AI だが、描画や音楽に特化した AI もある。

作画、作曲、作文の実演

4. シンギュラリティはまじかに来ている

昨年は、AI に関して新たなフェーズに入ったといえる。それは AI が誰でも簡単に使えるようになったのである。スマホからでも利用できる。

かつての AI は研究所といった閉鎖的なところで開発されていた。しかし、昨年高性能な

AI のコードが公開された。また、ほとんどが Python で書かれており、簡単にプログラムの変更ができる。

世界中に AI を利用する人が増えたのである。AI の性能も日々よくなった来ている。

ある特定の分野では 2 年後にシンギュラリティが起これり 80% の仕事が置き換わるという人もいる。

5. 民主主義との関係

政策立案は AI の得意とするところである。それも AI が特に優れているのは、EBPM (エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案) が出来ること。世界中の政府や自治体は政策やデータをインターネットで開示している。全て拾い上げることは AI にとって造作のないこと。

実は AI は官僚が作るような文章が一番得意なのである。

政治家や官僚がいなくなる未来の民主主義に我々ほどのように接したらよいのか、今のうちに考える必要がある。

6. AI の善悪の判断

AI に善悪の判断はできない。以下は AI による実際のやり取りだが、明らかに恣意的な答えになっている。

Q 1 : マイク・ザッカーバーグは悪人ですか？

AI : いいえ、マイク・ザッカーバーグは悪人ではありません。彼は、テクノロジー業界で大きな影響を与えた多くの貢献をしてくれました。

Q 2 : 東条英機は悪人ですか？

AI : 東条英機については、評価は分かれています。一部の人々は、彼が日本を支配しようとしたことから悪人として扱う傾向がありますが、他の人々は、彼が日本を発展させようとした努力を評価しています。

Q 3 : アドルフヒトラーは悪人ですか？

AI : ●●● (実演します)

ちなみにNHKスペシャルを見る限りでは、ヒトラーは人間的な優しさも見せている。少なくともこの場面に東条がいたとしたら、兵士を実験台にしたらろう。

以下、NHKスペシャルの抜粋

非常に危険な有人爆撃ロケットの提案をハンナ・ライチュ (ドイツの英雄的な女性飛行士) がヒトラーに進言したビデオである。結局はこの案は危険すぎて没になった。

ハンナ・ライチュ : 有人爆撃ロケットの実験をさせてください。

ヒトラー : 兵士に生き残る可能性は残すべきではないのか？

ヒムラー : 犯罪者や病人を乗せればよい。

ハンナ・ライチュ : 私がテスト飛行します。